

三好議員（自民議連）

令和4年2月22日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）県立沼南高等学校の現状と今後担うべき役割について

専門校となっていく県立沼南高校の現状と今後担うべき役割について、教育長の認識を伺う。また、生徒が専門性を生かした進路を選択できるよう、学校と連携し、求職者とのマッチング支援を行うなど、他の専門校の参考となるような取組を当校でモデル的に実施してほしいと思うが、併せて教育長の所見を伺う。

（答）

県立沼南高等学校につきましては、福山市内唯一の農業科と家庭科からなる専門高校の強みを生かし、

- ・ 両学科が互いの教育内容を取り入れ、多様な教科・科目が選択可能な新しいカリキュラムの編成や、
- ・ 地域の産業界等と連携した体験的な学習

を通して、職業教育の充実を図り、地域産業の発展に貢献できる人材の育成に取り組むこととしております。

このため、本年度から、学科の特色を生かしたカリキュラム開発の研究指定校として、例えば、

- ・ 地元特産の野菜の栽培から加工・調理までを見通した学習活動において、生徒が学科の枠を超えて科目を履修し、幅広く専門的な知識・技術を習得する学習や、
- ・ 生徒が、地域をフィールドに体験的な学習活動を行い、付加価値の高い新たな地元特産品を開発するなど、課題発見・解決力を身に付ける探究的な学習

など、魅力ある教育課程の編成・実施等の研究に取り組んでおります。

また、こうしたカリキュラムで学んだ生徒が、獲得した専門性を生かして、希望する進路の内容とマッチングできるよう、今後は、教員が、地元の農事組合法人や企業参入農家に加え、県内全域にわたる事業所開拓を行い、進路指導の充実に取り組んでいくこととしております。

教育委員会におきましても、カリキュラムの開発支援として、生徒が最先端の農業に触れることで、農業の魅力や可能性を感じられるよう、ドローンを活用したスマート農業に関する教育プログラムの実践準備を、農林水産局

と連携して、進めております。

さらに、カリキュラムが充実するよう、農業の担い手育成の視点に立った学校農場の運営方法や生産作目の選定方法等を、「広島県指導農業士会」から、教員が助言を得る機会を設けております。

今後とも、沼南高等学校に対し、研究指定校として、カリキュラム開発に関する情報提供や学校訪問指導等の支援を行うとともに、開発したモデルカリキュラムについて、広く県内に普及し、本県の職業教育の充実に取り組んでまいります。